

(財)山梨県富士川地域地場産業振興センター

平成20年度事業計画について

社会経済情勢の大きな変革期の渦中にある今日、富士川地域地場産業の振興事業と、峡南地域全体の活性化につながる事業とを柔軟に組み合わせながら、各種事業を着実に展開し、結果的に峡南地域全体の経済の基盤強化と地域住民の福祉の向上に寄与できるよう努めていく。また、「道の駅 富士川ふるさと工芸館」としてより集客増を目指す事業を展開し、クラフトパーク及びカヌー場を含めた施設全体の活性化をも図っていく。

平成20年度 事業計画

(1) 地場産業等活力強化事業(国補事業)

地域資源活用売れる商品づくり支援事業

富士川地域地場産業振興センター管内は、和紙、印章、硯など地域の風土や環境に根ざした伝統的な地場産業が集積している。しかし、これらの地場産業の形態はいずれも小規模であり、生活様式の多様化、景気の冷え込みや消費者の購買意欲の低迷により、厳しい経営環境に置かれている。しかも高齢化や後継者不足などが進み、地域の経済環境に暗い影を落としている。

このような状況を少しでも打破していくためには、地場産業の力を強化していくとともに、峡南地域の産業が有機的に連携し、地域ぐるみで地場産品(特に日常生活に密着した利用度の高い売れる新商品)の啓蒙・宣伝を行い、新たな販路を開拓していくことが最重要課題である。

当センターの主要な役割は、地域産業の拠点として広く地場産品の宣伝・普及を図ることであり、そのことに地域の業界からも大きな期待をかけられている。地場産品(特に和紙)を一般消費者に知ってもらうには、直接見て、手に取り感触を確かめてもらうことが重要であり、それには展示会の開催や地場産品の出展が効果があると考えられる。そこで、購買力の強い首都圏での新商品の展示会を開催し、峡南地域の地場産品を知ってもらうことを通して販売需要を促進し、新たな販路開拓へとつなげていくことを目標に本事業を実施する。

売れる和紙新商品展示会(仮称)

峡南地域の伝統的な地場産品である西嶋・市川両和紙の、生活に

密着した売れる和紙商品の首都圏展示会。

期 日 平成21年3月上旬(4日間)

会 場 東京国際展示場(東京ビッグサイト)

(2) 地場産品等需要拡大事業

・当工芸館における販売促進事業

地場産品&農林産品即売 平成20年4月~

あかり展&工芸市 平成21年3月

(3) 集客拡大事業

・当工芸館における集客事業

クラフトラリー 平成20年4月~6月【工芸館】

富士川体験ツアーバス 平成20年4月~6月【山交トラベル】

富士川スタンプラリー 平成20年4月~9月【身延線沿線協議会】

親子ふれあいまつり 平成20年5月3日~5日

富士川の郷「夏まつり」 平成20年8月中旬【全国メンまつり(仮称)】

富士川の郷「秋まつり」 平成20年11月上旬

は山梨デスティネーションキャンペーンの一環事業

(4) 物産展等出展事業

・峡南地域を中心とした地場産品の他地域への販売拡大事業

他施設への委託販売 平成20年4月~ 美術館・文学館等

甲府地場産業まつり 平成20年8月 甲府・国中地場産センター

マウト富士産業フェア 平成20年9月 郡内地場産センター

道の駅物産展 平成20年9月 岡島デパート

六斎市 平成20年10月 あおやぎ活性館

全国地場産センター物産展 平成20年10月 山口センター他

甲府地場産業まつり 平成21年2月 甲府・国中地場産センター

(5) 展示会開催事業

・地域文化振興のための展示会開催事業

蔡倫書道展 平成20年6月

峡南地域ふれあい創作展 平成20年11月

菊花展 平成20年11月

峡南地域新春写真展 平成21年1月

(6) 各種創作体験教室開催事業

・テーマ別創作体験教室

出張陶芸体験教室 平成20年4月～

出張木工体験教室 平成20年4月～

各工房特別体験教室 平成20年8月(夏休み)

(7) 広報事業

圏域の各施設や関係団体と連携を図りながら、積極的に富士川地域の存在を知らしめ、大自然と伝統的な地場産品の素晴らしさを県内外の人々にPRする。また、「道の駅富士川ふるさと工芸館」及び峡南地域の観光スポットを広く周知するため次の広報事業を展開する。

教育関係団体等への積極的なPR

旅行業者等への紹介の徹底、広報活動の充実

道の駅・SA等へのキャンペーン活動の推進

インターネットによる情報発信。(施設紹介・イベント開催案内等)